あのン広

し齢

ァ

マ

ャ

1

、ネがで

で地

き域は

者 て

高齢者

D

相

談窓

地

域

2

括支援

センタ

C

व

4

IJ

ビ院護支門保よ安ス後予援職健う心にの防をが師、して つ生にし連、主て 知今相 症回談 つ生にまたいででいる。 いだがいて、 り ま携社任過が さ 会ケご福アす 因 ア て知りたい」などか心配「介護サーいて知りたい」」退って知りたい」」退って知りたい」、高齢者の会に対したのでは、の事 や治療 を 1 紹マ 介 -し 型

でがうの変はハ ま中化アイ のがミ でい神見ロ な細れド く胞ま斑知の なのすや症原っつ。神の因 神の因

萎くの馬中のが脳維にツク 蓄にに記特 アにミに 憶徴く しゥ と口関すか経らイ 後はいイ係

前な全海た経位でなさ経脳アルか変体馬ん細(脳いがら原組アル ら化ががぱ胞海のるりに線織ル 起は萎 症縮縮が中じ 状しし て、 いがま 積夕 出す 。最 بح る 10 C 考10こ 俊は、 え え 年 の に じ う ド す こ ト け め 異 、 る れ上う脳に常神部

アっんがのアま てぱ 異ル < ほ常ツ ま がとがハま ん判イた、 せ蓄 ど明 すのし1約 る患て 原者きで% 因はてはの は異い遺家 わ常ま伝族 かたす 子 性

ダい マーでん。 本症

アルツハイマー型系 療法はありません の進行を遅らせる が現るをがが落ち込んが をなるといったきました が現るといったり、 がおれてきました がおれてきました がおれてきました がたまでは、 がのでするといったが はんががない。 はんががあるといったが はんがでする。 がたました では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいったが、 なが、 では、 でいるといったが、 のといったが、 のといが、 のとい 症徊だれ ること で、 しんだ てが根知 り、 そ 記い 0) は憶る こ的の ほ可障物のな治 行のこぼ症が能害質病治療 時防10活学のし化態 午121111教人動び重てさで前月月月室のし、要いせあ

203021なりて地性くな日日日ビーい域やこい

介護力

・中出ま

す

で張

ルつよ異あたがた徘んツあう常り薬、症徊だ ツあ う 常 り薬 ハりに ま物そ状 ア ミす療れが怒い。注がでり す 法ぞでり幻 がれるつ覚 す。 るロ 治イ 療ド

の新

申型

請コ

期口 間ナ

がウ

121

31ス

つつ

間しで認 IJ スと トやイま を自マ 紹分丨 介で型

(2)

貸

付

が

① 支

総給

☎南☎地ま 3 部 4 域 す 0 地 4 包 8 域 3 括 包 . 3 括 1 援 4 支 2 セ 2 援 0 ン 6 セ 7 ン 夕

(4)

内新貸まわ援緊至談総承総り

元対とた付でっ資急らを合認合終合**対**に象申にをにた金小なし支と支わ支**象**

届に請④利借世の口かた援な援っ援世かな書に用り帯初資っも資っ資た資帯

該中終・回金たの金た金世金

わ令貸お世のの世の帯のる和付よ帯申再帯再 再

し貸

込付

みの

支

夕

(3)

5 関 g る市 民 プ **(**)

方 ケ報 ーや月 がか とう ち 1 卜 ま 日 を ござ 協実たり 力施に 31 いをし関 、す 日 13 ただき、 ただき、 (水) 1る 0) 1 市 期 9 民 間 人ア 間ム ~

1 1 1

 \mathbb{H}

時

会場

内

容

対

象

定

定

員

費 用

申

締

め

切

ŋ

持

ち

物

問

合

わ

せ

FAX

4

4 4

に 検 ア役証 ーン立し、 7 1て今 課公 トい後 開結きの 果ま広 はす報 7 ゃ £ V ま市 ち すホ ま

4 書 4 広ジケ 3 報で l おす案

> すに身護と °維のがを 防方 1 街 市

す。一動介持状必予護 イ齢ダ

っまに

対 を す べ て 満 た し

ダ運

☎地11153け齢講市い次す り で地 活 域 動で い行 たう

順が 受 講 で

ン 30 後 45 🤍 タ分 0 分全 1 5 時 5 3 5 10 時 分

合後 保・・

総午

困 。 窮者自立 ·

日感 ま染 CIE

借 支 課 ③ ・いす 期合る せ合 くは だ社

貸

付

を

に相 不 。求に法限月以世世額問当 間上帯帯 世 帯86間わ場 万万 10 円 円 万

からず、いま はく一角月終支 間給世り資※申申 ☆社世帯ま産支請請332単給へに 4会帯、す、給方期カ人人身月お該 4福は職 祉対業ま職あ 3 課象訓た活た郵12 外練 6 り 給保要

当の

方に を

7

当する いまび必

带年借総

12 り 合

タ 養 成 講 座 介 護 予

4 域月人回る者座内るのるコ運ポ高 トのにの と特つ現実徴い状 7 て防 防

現

在

きる

口

1 援 2 セ 0 > 7 夕

りることなどっることなど 4 包18 の方の修在方要 3 括日申講 集了住 件 ま後の 支金込座 、方 シ旦践 ョ腔に介 ン機つ護 に能い予 だ高 方 7 関 ・補金を容処量

○補

動っ送月 と受生等て 31 な講活のは 日 さ ま付護件収 必 円 会 着 す金受が入 61 福 受給あや 祉 時 リ 申費定 内場 対 は人11無10者市チ講老各11フ自来福月料人で内教師人日月レ宅所祉9 (両在室に福午27ッで シ よ祉前日 申日住 る セ 10 (日) め 込参で 順加60

0 IJ 5

ュス きるリ 初ン時・ ٦ 心夕 \ 12 レ · ラッ 1 11 月 者 ツ スゆ時11 チ トう ク 日 で レゆ (日) ス

所 祉 9 セ目 申 ン(水) タ午 〕前 みに9 電時 話か まら

庭 3 0 減 化にチ P レンジ・

あ方また生ポたれり す世ごスめる 。帯みト に処・生み 補理Eご 0)

を ※

機理 を容 設器 置・

ンホくて交

の生ごみな みを自ら処理持管理できる。 電気式生 し てい な

みバの1法

円費帯 助 2 2 金 分基 のま

●電気式生ごみ処理機 補助基数 1世帯1基まで 補助金額は、100円) にださい。交付申請書に必要書類を添え を切り捨てた金額です。 をご覧ください。交付申請書に必要書類を添え そのほか、生ごみの担け、市 をご覧ください。要書類を添え をご覧ください。する「井太 がクテリアなどにより。 詳しくは、市よして土の中にいる の土を利用して土の場間という手法があり、生ごみの減量方 をご覧ください。 100円 がクテリアなどにより。 がクテリアなどにより。 は、市 なを分解させるものです。 をご覧ください。 100円未満 をご覧ください。 100円未満 をご覧ください。 100円未満 100円 100円

よ口代・すりナわヨい チ

間がの※ ゆ福まにコにルや り変更となる場合ナウイルス感染症わるもの。

☎ゆ老あ影新そ夕動 4う人り響型れオき 祉す。 1

で歳

き以

る上

方の

初

